

小野市長への「栗生線存続に向けた署名」の提出について

1. 提出日及び提出者等

提出日：平成28年2月10日（水）

提出者：兵庫県立小野高等学校 課題研究神鉄活性化班

提出先：小野市長

2. 署名活動に至る経緯

- ・昨年7月から、通学で利用する栗生線の存続に対する取り組みを開始。
- ・栗生線の存続には、沿線市の支援だけでなく、国や県の支援が必要である
と思い、小野市長から「地域住民の声（署名）」を、国や県に伝えていた
こうと考えた。

3. 署名活動内容及び署名数等

署名趣旨：栗生線に対する国や県の支援を求めるため、小野市長から「地域
住民の声」を国や県に伝えていただきたい

活動内容：①街頭署名活動（神鉄トレインフェスティバル・イオン・エクラ・
小野駅）

②生徒及び保護者への署名協力依頼（小野・小野工業・三木・三
木東・三木北）

署名数：4,912人分（目標数5,000人）

神戸電鉄粟生線の存続に関する要望書

要望者
住 所 〒675-1375
兵庫県小野市西本町518番地
団体名 兵庫県立小野高等学校
代表者名 課題研究神鉄活性化班
代表 大藤圭織 岸本怜奈
電話番号 0794-63-2007

趣旨 粟生線の廃止を阻止するために、小野市から国や県に支援を求めること。
粟生線存続への私たちの強い願いを伝える。

理由 粟生線は一般利用客が年々減少傾向にあり、存続が危ぶまれています。現在も運行は最小限に抑えられていますが、毎年10億円規模の赤字が続いています。しかし、通学に利用する私たち学生にとってはなくてはならないものです。小野高校生の場合、三木市から小野市までバスで通学するとなると定期代が2倍近くかかります。その上、バスの本数を増やすとなると交通渋滞を引き起こし通勤・通学に時間がかかります。

こういった事態にならないよう私たちが考えたことは、国や県からの支援を求めることです。署名活動によって、粟生線を必要とする多くの方々の意志と、私たち高校生の声を届けたいと強く思いました。

上記のとおり陳情書を提出します。

平成 28年 2月 10日

小野市長 様

神戸電鉄粟生線の存続を求める署名

小野市長 殿

粟生線は一般利用客が年々減少傾向にあり、存続が危ぶまれています。現在も運行は最小限に抑えられていますが、毎年10億円規模の赤字が続いています。しかし、通学に利用する私たち学生にとってはなくてはならないものです。小野高校生の場合、三木市から小野市までバスで通学するとなると定期代が2倍近くかかります。その上、バスの本数を増やすとなると交通渋滞を引き起こし通勤・通学に時間がかかります。

こういった事態にならないよう私たちが考えたことは、国や県からの支援を求めることです。署名活動によって、粟生線を必要とする多くの方々の意志と、私たち高校生の声を届けられるよう行動していただくことを求めます。

氏名	住所 (県名から)
	兵庫県加東市
	兵庫県加東市
	兵庫県加東市
	兵庫県加東市

兵庫県立小野高等学校 国際経済科 課題研究神鉄活性化班

〒675-1375 兵庫県小野市西本町518番地

TEL: 0794-63-2007

FAX: 0794-63-2008